

社会福祉法人愛篤福祉会は、利用者さんが安心して暮らせる施設づくりを目指します

不思議だなと思う事があります。カワイイ猫や犬を見て、にゃんこわんこ、という事があります。そこにはほとんどの場合、純粋な思いから自然にあふれ出る言葉だなどと思います。他にも赤ちゃんをみてつい出てしまう、でちゅ・まちゅ、言葉もその分類でしょう。福祉の仕事をしていると、理由のいかんにかかわらず、愛称などで相手の名前を呼ぶと、差別だ下に見てる・尊敬が足りてない: 等々、おしかりを受ける事が多々あります。わかります。仕事です。相手はお客様です。敬意は必要です。ですがたまに思うのです。それを心がけるといいう指摘自体が、差別を生むのではないかと。冒頭の純粋な思いの言葉をだす人が差別する気持ちで相手を呼ぶでしようか?もしかしたらそういう指摘が逆に相手の心を委縮させ、自分以外の相手に対してのメガネを曇らせてしまうのではないのでしょうか。この記事を読んでいる方は知っているでしょうか。福祉職員は利用者さんを愛称で呼んだら虐待なんだそうです。出来れば私は猫を見たら、にゃんこ、と叫び、赤ちゃんをみたら、どうちたんでちゅか、と素直に言える世界であって欲しいなと思います。この文章を見て、差別だ、と思う人がいないでほしいなあ。

にゃんこ



頑張るの恐怖

頑張る。良い言葉ですね。ザ・日本人という感じがします。: : : なんて昔は思っていたのですが、最近はこの言葉に恐怖を感じる事があります。世代により認識や意識に差があります。が、その差を頑張りの差と思う人々が一定数いる事が今の社会の歪みの一端なのでしょう。大前提として生物は生きているだけで頑張っています。頑張っているうえでそこに生活、仕事、仲間、夢などの様々な頑張りを背負っていきます。歳を経るとさらに他人の意思や責務も乗せちゃいます。さあ、次は何を載せますか。そりゃいつかはつぶれてしまいますよ。人はいつも頑なに張り続ける事は出来ません。それをすれば、いつかは張った弦は切れるだけです。補修できる程度なら良いですが、それが出来ないからつぶれていく人が増えているのが、今の社会ではないでしょうか。この時点の文章を見て頑張りが必要ないんだそれは、と思った人はきつといるでしょう。でも、その思いがさらに人をつぶす事もあります。頑張るとい言葉が、自分の前向きな思いへのエネルギーになるような世の中であつたら良いなと願う今日この頃です。

ちょこっと Q & A

先日こんな質問を保護者の方にされました。「障がいをもつ人はグループホーム（以下GH）って入居条件あるんですか？」とのことでした。正確に言うと違う部分もありますが、通常ホームを運営している事業所は、入居条件として療育手帳・精神手帳・身体手帳のどれかをもち、支援区分の非該当、1~6 のどれかへの該当を求めるのが普通です。支援区分はお手持ちの受給者証（いわき市はピンク色の表紙の手帳です）の2 ページ目に記載されています。費用ですが、各事業所に寄って値段は違いますが、基本的には家賃・食費・水光熱費・障がい福祉サービス利用料（1割負担）・日常生活費がかかります。下記は参考価格です。

関東圏での1ヶ月の一人暮らしの一例: 家賃(1R) 68,000 円、食費 39,000 円 水光熱費 13,000 円 医療費 7,500 円 交通通信費 19,000 円 その他(個人の娯楽・日用品等) 50,000 円 計 196,500 円。ちなみに関東圏の某GHの費用は 110,000 円+日用品費です。GHの費用が高いと思う方もいらっしゃるそうですが、平均額で比べるとGHは世話人もいてこの価格の安さは脅威的だと思います。

梅雨時期の注意

近年は季節感の崩壊を感じる今日この頃ですが、この号が出るころには梅雨に入っている可能性があります。気温・湿度ともに不快指数が高くなり、健康状態にも影響を与えますので、皆様も体調に十分お気をつけください。また、食中毒も増えていきますので、冷蔵庫の中に入れていても油断せず、飲みかけのペットボトルなどはそのままにしないなどご注意ください。



<寄付・物品寄贈の皆様>

田辺武子様 渡邊和子様 遠藤哲郎様 <順不同です> ありがとうございます。